

台風や線状降水帯 ー外出できる目安はー

2024年9月17日現在の気象庁の統計資料によると今年の台風の発生数は13個、上陸数は2個で例年と比べて特に多いわけではありませんが、近年の特徴として非常に勢力が大きくなることや停滞時間が長くなる特徴があり、また線状降水帯の発生など災害級の局地的な大雨が長時間降り続く傾向が強くなっています。そのようなときに外出を控えるべき目安を知っておくことは思わぬ被害に遭わないために必要です。

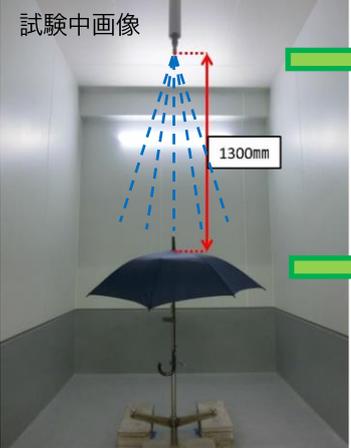
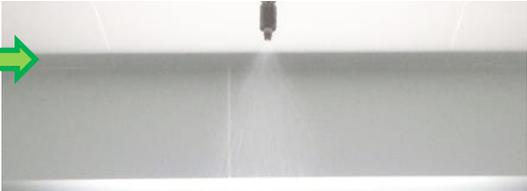
🌧️ 雨の強さと降り方			🌬️ 風の強さと吹き方			
1時間雨量 (mm)	雨の強さ (予報用語)	人への影響など	平均風速 (m/s) おおよその時速	風の強さ (予報用語)	人への影響など	
10~20	やや強い雨 (ザーザー降り)	地面からの跳ね返りで濡れる 話が聞き取りにくい雨音 	10~15 ~約50km/h	やや強い風	向かい風では歩きにくく傘はさせない 	
20~30	強い雨 (どしゃ降り)	傘をさしていても濡れる 	15~20 ~約70km/h	強い風	向かい風で歩けず転倒することも 	
30~50	激しい雨 (バケツをひっくり返したような降り)	傘をさしていても濡れる 	20~25 ~約90km/h	非常に強い風	何かにつかまらなると立ってられず飛来物にも注意 	
50~80	非常に激しい雨 (滝のようにゴーゴーと降る)	傘は全く役に立たない 	25~30 ~約110km/h			屋外での行動は極めて危険 
80~	猛烈な雨 (息苦しいような圧迫感、恐怖を感じる)		30~35 ~約125km/h	猛烈な風		
			35~40 ~約140km/h			
			40~ 約140km/h~			

出典：国土交通省、気象庁HP台風の統計資料及び天気予報等で用いる用語解説用資料より



関連アイテムである傘について、ポーケンでは(旧) JIS S 4020 洋がさ規格に基づいた強度試験、性能評価を実施しております。

(旧) JIS S 4020 洋がさ：耐漏水性試験

<p>試験方法</p> <p>試料を開いた状態で保持具に取り付け、降雨量20mm/h (±2mm) に調整した人工降雨試験装置で20分間降雨させ、試料内側への伝水の有無を目視で確認する。また試料内部の水滴数を数える。</p>	<p>試験中画像</p> 	 
<p>要求性能</p> <p>傘の内部に伝水のないこと、また傘の内部に水滴が15滴以下であること。</p>		

上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。

生活産業資材事業本部

☎️ 03-5669-1382

■東京生活用品試験センター

〒135-0001 東京都江東区毛1丁目12番1号

☎️ 06-6577-0124

■大阪生活用品試験センター

〒552-0021 大阪府大阪市港区築港1丁目6番24号

一般財団法人ポーケン品質評価機構 <https://www.boken.or.jp>